




入院中、患者さんは体を動かすことが少なく、便秘になりやすいです。その為、当院の入院患者さんに便秘薬が使われることも少なくないです。近年発売された便秘薬の特徴についてまとめてみました。

①坐剤、浣腸	新レシカルボン®坐剤、グリセリン
②刺激性下剤	センノシド®、アローゼン®顆粒、ピコスルファートNa（ラキソベロン®）
③浸透圧性下剤	マグミット® ラグノス®ゼリー、モビコール®
④上皮機能変容薬	アミティーザ®、リンゼス®
⑤IBAT阻害薬	グーフイス®



近年発売された薬

	ラグノス®	モビコール®	アミティーザ®	リンゼス®	グーフイス®
					
剤形	ゼリー	液用製剤 (散剤)	カプセル	錠剤	錠剤
服用回数 (一日あたり)	2回	初回：1回 以降：1～3回	2回	1回	1回
服用時点	-	-	食後	食前	食前
小児への投与	-	○ (2歳以上)	-	-	-
妊婦への投与	有益性投与	有益性投与	禁忌	有益性投与	有益性投与
副作用	下痢	3.3%	30%	11.6%	14.4%
	腹痛	2.2%	3.6%	6%	23.2%
	その他	腹部膨満 (2.2%)		悪心 (23%)	
その他	高アンモニア血症にも適応有り	粉を水で溶かして服用する		吸湿性のため、服用直前に錠剤を取り出す	

便秘薬には、錠剤以外にも上記のように様々な剤形のものがあります。ラグノス®であればゼリー剤のため、嚥下機能が低下した高齢の患者さんにも使いやすいといえます。剤形以外にも薬ごとに服用回数、服用時点が異なります。リンゼス®であれば、1日の服用回数が1回と少なく、患者様の服用に対する負担は少なくなるように感じられるかと思えます。しかし、服用時点が食前（食事の30分前）であり、服用し忘れてしまう可能性があるため注意が必要です。食後に服用してしまうと、食事による腸管への水分分泌が加わる為、作用が増強する可能性があり、腹痛や下痢のリスクが高まります。一方で、アミティーザ®は、空腹時の服用で嘔気が出やすくなるため、食後に服用することが推奨されます。便秘の治療は1～2週間程度の短期間で評価を行うことが望ましく、その際には排便回数のみでなく、随伴症状にも留意することが大切です。

薬局では、DI Newsで取り上げて欲しい内容を募集しております。何かございましたら、院内のメールにて薬局中村までご連絡ください。